

島根高P連だより

第68号

2025.6.27

発行
編集

島根県高等学校PTA連合会事務局

松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735
E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL: https://shimakp.jp/

高P連
ホームページの
QRコード



江津高校

学園祭神楽部



探究科学科2年生
先端科学技術研修



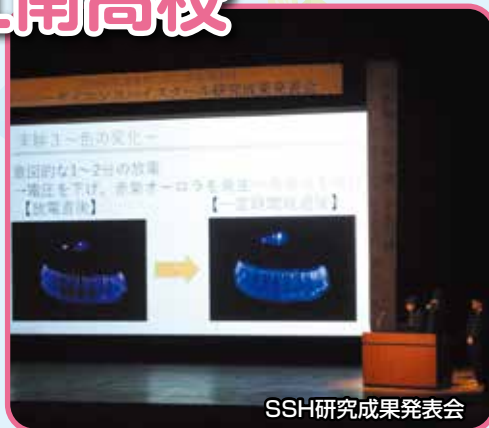
普通科2年生 関西研修

松江南高校

1年生遠足



体育祭 応援合戦



SSH研究成果発表会

三刀屋高校

国ス氷強化指定校指定証交付



部活動部長・
キャプテン大集合



学園祭PTA模擬店



2年総探総合研修



雲南式探究
永井隆博士 生い立ちの家で



JRC部
テーマは「笑顔でつながる世代間交流」

目次

- 2 「未来へ繋ぐ学び」
島根県高P連会長 曳野 貴志
令和7年度島根県高P連総会開催
- 3 令和7年度中・四国高P連島根大会について
- 4 国際大会出場 会長激励費贈呈 平田高校柔道部
令和6年度幼・こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会
- 5 令和6年度 県教委との意見交換会

未来へ繋ぐ学び

島根県高等学校PTA連合会長
(島根県立松江農林高等学校PTA会長)

曳野 貴志

令和七年度島根県高等学校PTA連合会の会長を務めさせていただきました。貴志と申します。

皆さまには日頃より本会の活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

微力ではありますが会員の皆さまのお力添えをいただきながら運営に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

今年の高校入試から「推薦入学者選抜」に代えて「総合入学者選抜」と変わり、自分に合うと思う高校に積極的に挑戦できる入試へと変わり、選択肢を広げることで生徒たちの将来への視野が大きく広がる魅力に繋がると思っております。少子高齢化、グローバル化、情報通信技術、AIなどが急激に進むこれからの時代、その中心の担い手となる現在の高校生たちには、大きな視野を持ち、激しい時代の変化に対応できる創造力を持ち、自ら考え行動する力が必要と求められています。

子どもたちも、切磋琢磨している中で、私たち大人も時代の変化と共に学び続けなければ子どもたちにより良い教育環境の提供また健全な育成を支えることができます。

学校で行われる「学校教育」、家庭で行われる「家庭教育」とそれと並んで、大切な教育が「社会教育」です。子供は家庭・学校・地域を行き来しながら生活し、学び、成長します。

PTAは成人教育の場でもあり、より良い保護者、先生であるためには、自ら学び、研修に励む必要があり子供たちの健全教育のためには大切なことです。

保護者の皆さまも多忙なご時世ではありますが、学校に保護者の顔があることは子ども達にとっても、いい刺激となりコミュニケーションの向上また防犯の抑止効果にも繋がっていくと感じています。

コロナ感染症が五類に移行され二年が経過しましたが、空白の三年間の影響はとも大きく元に戻すのは容易なことではありません。しかし考え方を変え、未来につながる新しいかたちで、子どもたちの事を最優先に考えた活動になるよう皆さまで一緒に模索していきたいと思っております。

私ども県高P連も、様々な活動を通して、会員の皆さまに少しでもお役に立てるよう努めてまいります。今後ともお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

令和七年度島根県高等学校PTA連合会総会開催

令和七年度定期総会は六月十四日(土)に松江市のくにびきメッセで、代議員五十九名が出席して開催された。

原任次会長は開会にあたり、県高P連の様々な活動への協力に感謝を述べた。その上で、PTAは父母と教員が協力して子供の健やかな成長を支援する団体であり、活動を通して保護者は教育や社会環境、子育てに関する知識を深められること、そして「できることをできるときに無理をせず」参加できる大人の学びの場であると、PTAの役割と活動の意義について挨拶した。

来賓の島根県教育委員会野津建二教育長からは、最初に日頃の教育行政に対する保護者の理解・協力に対し謝意が伝えられた。さらに、野津教育長はPTAの存在意義についても触れ、人が集まることで生まれるコミュニケーションの重要性を強調さ



総会の様子



野津教育長挨拶

れた。それぞれ異なる考えを持つ人々が、「子供の健やかな成長を願う」という共通の目的のもと活動することの意義を述べ、そこから多くの学びや気づきが生まれ、それらの気づきが行動へと結びつくきっかけとなることこそ、まさにPTAの存在意義であるとのこと挨拶があった。

開会行事の後、議事に入り、原会長を議長に選び、第一～四号議案を承認後、第五号議案で左頁の通り新役員が決定した。そして、原会長、名原昌邦副会長からそれぞれご退任の挨拶をいただいた後、曳野貴志新会長を議長に選任し、第六号議案以下、提案された議案はすべて承認された。

次に提出議案を紹介する。

第一号議案 令和六年度会務・事業報告について
第二号議案 令和六年度会計決算及び監査報告について

第三号議案 島根県高等学校PTA連合会会則の一部改正について

第四号議案 第67回中国四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会について

第五号議案 令和七年度役員(案)について
第六号議案 令和七年度活動方針(案)について

第七号議案 令和七年度主要行事予定(案)について

第八号議案 令和七年度予算(案)について
第九号議案 県高P連関係各表彰の被表彰者の決定及び全国高P連等表彰等の推薦について

第十号議案 報告事項

令和7年度島根県高等学校PTA連合会役員表（敬称略）				
役 員	選出地区等	氏 名	所属高校	所属校校長
会 長	東 部	曳野 貴志	松江農林	板垣 悟史
顧 問		原 完次		
		木村 直樹		
副会長	中 部	加村 光夫	大 社	吉川めぐみ
	西 部	竹下 耕二	島根中央	渡邊 勝義
	女性代表	赤池 忍	松 江 北	中西 正実
	校長協会	板垣 悟史	松江農林	
評議員	松江地区	梶野 光伸	安 来	伊藤 尚史
		樋ヶ 通子	皆美が丘女子	多々納雄二
	雲南地区	三原 宏之	飯 南	馬庭寿美代
	出雲地区	布野 雅士	出雲工業	高橋 実
	大田地区	日高 健吾	矢 上	石原 寛治
	浜田地区	渡邊慎太郎	江津工業	梶野 哲央
監 事	益田地区	宮内 健臣	益田翔陽	山岡二三男
	東 部	板垣 学	情報科学	
	中 部	須山 充彦	三 刀 屋	
事 務 局	西 部	竹内 宏規	益 田	
	事務局長	恩田 佳雄	事務局員	岡本 順子

第九号議案について、表彰規定に基づき、次の方々に感謝状と表彰状を贈呈し、永年のご労苦とご功績に対して謝意を表すことになった。そして、木村直樹元県高P連会長に代表してご挨拶をいただいた。

○感謝状と記念品贈呈（敬称略）

木村 直樹（松江北高校）
原 完次（松江商業高校）

○表彰状贈呈（敬称略）

水津 則義（松江商業）
名原 昌邦（島根中央）
寺本 英仁（矢上）
岩崎 広美（浜田商業）
松浦 利幸（津和野）

また、全国高P連会長表彰に次の団体を推薦

することとした。

○令和七年度全国高P連会長表彰
団体表彰候補

島根県立松江東高等学校PTA
島根県立吉賀高等学校PTA
個人表彰候補（敬称略）

木村 直樹（松江北高校）
原 完次（松江商業高校）

また、総会では、第四号議案で第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会（島根大会）に関する協議も審議され、すべて承認された。

○島根大会関係協議議題

第一号協議議題 駐車場について
第二号協議議題 「第6回実行委員会」「前日準備りハーサル」及びマニュアルについて

令和七年度 第67回中国・四国地区高等学校 PTA連合会大会島根大会について

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会は島根県で開催されます。現在まで、総会・評議員会、実行委員会を開催し、準備を進めてまいりました。残りわずかとなりましたが、会員の皆様のご協力をよろしく願っています。

①期日 令和七年七月十一日（金）

②会場 くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）

③大会テーマ
神話の郷に集う縁
～新時代を生き抜く力を～

④シンボルマーク（下記）

⑤参加費
五二〇〇円
（并当代一、二〇〇円を含む）

⑥記念講演
講師 山根 公利氏（メカニクデザイナー）
演題 「Tから生まれる人の幸せとは何か？」

⑦高校生による発表について
・島根県立浜田商業高等学校 郷土芸能部 石見神楽
・松江市立皆美が丘女子高等学校 ダンス部 ダンス
・島根県立出雲農林高等学校 和太鼓部 和太鼓

⑧研究協議について
・岡山県 金光学園中学・高等学校やつなみ保護者会
テーマ：子ととも育て
～金光学園やつなみ保護者会の歩み～

⑨高校生の物産販売（予定）

・島根県立松江工業高等学校
「フライラ棒ミニギョー」
・島根県立松江農林高等学校
「アチコジャム、マーマレードジャム等」
・島根県立江津工業高等学校
「アジファブ作品の小物等」
・島根県立浜田水産高等学校
「サバ味付け缶詰またはマグロ油漬け缶詰」

⑩今後の準備日程
七月五日（土） 第八回島根大会実行委員会（県民会館）

⑪駐車場について

①くにびきメッセ第1駐車場
・県外の参加者

②くにびきメッセ第2駐車場
・県内「駐車許可証」発行車のみ

③県立プール跡地駐車場（多目的広場）
・県内一般参加者・県内スタッフ

④県立プール跡地駐車場（3号駐車場）
・貸切バス（要事前予約）

今後の中：四国高P連大会と全国大会の開催予定

○中：四国高P連大会
・第六十八回中：四国高P連大会 香川大会
令和八年七月

○全国高P連大会
・第七十四回全国高P連大会 三重大会
令和七年八月二十一日（木）・二十二日（金）
・第七十五回全国高P連大会 大分大会
令和八年八月

ベルギー国際柔道大会出場 会長激励費贈呈

令和六年度 島根県立平田高等学校 柔道部 三年 福田 さくらさん

ベルギーのエルスタルで開催されたベルギー国際柔道大会に日本代表として出場した平田高校柔道部3年福田さくらさんに二月十八日(火)平田高校校長室で加村高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○結果

ジュニアの部女子63kg級準優勝

- 予選リーグ第一試合 ミヌルイギリスと対戦 崩壊寝固で一本勝ち
- 予選リーグ第二試合 レッバー(オランダ)と対戦 崩壊寝固で一本勝ち
- 予選リーグ第三試合 エガ(オランダ)と対戦 袖釣込腰で技あり
- 一回戦 レインナウ(スイス)と対戦 縦四方固で一本勝ち
- 二回戦 グランド(ドイツ)と対戦 縦四方固で一本勝ち
- 準決勝 バネギータ(オランダ)と対戦 縦四方固で一本勝ち
- 決勝 プルサス(フランス)と対戦 背負投で有効を取られ、結果準優勝

福田選手には、左記のようにベルギー遠征の手記を書いてもらった。

ベルギー国際柔道大会準優勝

令和六年度 島根県立平田高等学校 柔道部 三年 福田 さくら

私は、一月二十五、二十六日にベルギーのエルスタルで行われたベルギー国際柔道大会に日本代表として出場し、ジュニアの部で準優勝することができました。日の丸、国際ゼッケンのついた道着を着た時は、嬉しくて今までの努力が報われた気がしました。小さい頃からの目標の一つに届いて本当に嬉しかったです。

会長激励費贈呈

令和六年度 島根県立平田高等学校 柔道部 三年 福田 さくらさん

昨年十一月にはフランスの国際大会も経験していたので、初めての時とは違い精神的に落ち着いて、絶対に勝つという強い気持ちを持って臨むことができました。海外の柔道のレベルは高く、手足の長さを生かしたパワー柔道に対して、研究と対策をしっかりとしたので、成果に繋がったと思います。

ベルギーでは、長時間フライト後の調整で計量の難しさもありました。また、日本でも経験のない一日に七試合というハードな戦いでしたが、組手を徹底しながら、寝技でワンチャンスをつかみ粘り強い柔道ができました。国際大会で初めてメダルを獲得できて嬉しい反面、あと二歩のところで優勝を逃しても悔しい思いが残る、もっと強くなりたいと思いました。

帰国すると、応援してくださった周りの方々がとても喜んでくださいました。今までお世話になった全ての人、支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

春から強豪大学に進学予定なので、新しい環境でも自分らしくコツコツ努力していきたいと思っています。そして、また日本代表として世界を目指して頑張ります。平田高校で充実した三年間を過ごせて、本当に感謝しています。ありがとうございます。



表彰式後



表彰式



国際合宿



贈呈式

「人(大人も子どもも)をポジティブにする」

やる気を引き出す魔法の言葉

令和六年度島根県幼・こども園・小中・高 特別支援PTA合同研修会

令和六年十月三十日(土)、島根県立大学浜田キャンパスコンベンションホールを会場に、幼・こども園・小中・高 特別支援学校のPTA会員(百三十一名)高P連関係十三名が参加し、合同研修会が開催された。講師は元広島ホームテレビアナウンサーで現日本ベテブトーク普及協会認定講演講師の井村尚嗣氏で「人(大人も子どもも)をポジティブにする」やる気を引き出す魔法の言葉」というテーマで講演をいただいた。以下にその概要を報告する。

○ベクトルとは

アメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために用いる短い激励のスピーチで「ベクトル」は英語で、元気、活気、活力という意味がある。昨年三月に開催されたワールドベースボールクラシック決勝アメリカ戦の試合前の円陣で大谷翔平選手がチームメイトにかけた「僕が三つだけ。憧れるのをやめましょう。ファーストにゴールドシュミットがいたり、センターを見ればマイク・トラウトがいたり、外野にムーキー・ベッツがいたり、野球をやっている誰しも聞いたことがあるような選手たちがいると思う。憧れてしまったのは超えられないので、僕らは今日超えるために、トップになるために来たので、今日日だけは彼らへの憧れを捨て、勝つことだけ考えていきたいと思います。さあ、行こう」とチームを鼓舞した言葉は、まさにベクトルの好例と言える。

○ポジティブな言葉選びについて

ベクトルについて大事なポイントが、相手が前向きな気持ちになれる「ポジティブな言葉選び」である。①相手の存在を認める声かけ「君がいてくれて助かるよ」②行動をほめる声かけ「いつもがんばっているね」③結果をほめる言葉「よくやった。素晴らしい挑戦だったね」などのようにポジティブな言葉は相手を認め、励ます効果がある。

ポジティブな言葉を使う上でポイントが三つある。①「とらえ方変換」例えば「わがままな」を「自分の意見を持っている」、「飽きっぽい」を「好奇心旺盛である」、「優柔不断な」を「人の意見を尊重する」のように言葉の捉え方を変えることで、ネガティブな印象をポジティブに変えることができる。②あるもの承認「人はつい短所に

目に向きがちだが長所を認めて伸ばすことが大切。③してほしい変換「するな」よりも「やろう」とである。ピンク色の象を想像しないでください」と言われてもピンク色の象を想像してしまう。同様に「失敗するな」では失敗をイメージしてしまう。「諦めるな」よりも「最後までやろう」、「負けるな」よりも「入力を尽くそう」と言い換えることによって具体的な行動を促す。試合前に「負けたらダッシュ百本だ」よりも「全力を出し切ろう。思いっきり楽しんで来い」である。

親子の関わり場面においてもぜひポジティブな言葉をつかったコミュニケーションを心がけてほしい。言葉は子どもの心に深く刻まれ、その後の成長に大きな影響を与える。言葉には「力」があるのだ。

講演後の感想(抜粋)

言葉には、力があるということと意識しながら言葉かけをしていきたい。

講演時間はあっという間で、すぐにも実践できるものはかりでした。私が今まで言葉に力をもってきたように私の言葉かけでだれかの背中をおすことができるよう、自分の発する言葉に責任をもつていけたらと強く感じました。

・高2の長男とのコミュニケーションが、先ずは自分自身が前向きに生き生きと生きることができていきたいと思います。

・「とらえ方変換」頭の中ではわかっていてもつい発してしまふネガティブな言葉をポジティブな言葉に変えて、子どものやる気スイッチを入れていきたい!!



閉会行事での原会長挨拶



意見交換の様子



講演会の様子

令和六年度 県教委との意見交換会

平成七年一月十六日(木)に原完次会長以下四名の役員が教育庁で、県教委の野津建二教育長以下十三名の職員と意見交換を行った。以下は、高P連役員の質問や意見に対する県教委の回答、意見等をまとめたものである。

「1」クラス減少と教員定数の減少が教育の質に及ぼす影響と教育水準の維持・改善について

教員定数は生徒数によって決まり、理想的には「学年の学級規模は四クラス以上であることが望ましいが、島根県の中山間地では三クラス以下の小規模校も少なくない。これらの学校は地域住民の定住を促す上で重要な役割を果たしている。

島根県では、生徒数に基づいた教員の基礎定数に加え、県独自の判断で教員を増やす「加配」を積極的に行い、教育の質の維持に努めている。特に、中山間地の学校には、都市部と比較しても遜色ない教育環境を提供するため、積極的に「加配」を行っている。

また、教員不足の問題に対処するため、芸術科の教員を中心に複数校を兼務する体制で教育水準の維持を図っている。この教員不足に対処するためには働き方改革や教員養成の充実など、多角的な取り組みが必要となる。

以前、西部地域で遠隔授業の実証実験を行ったが、現在、この遠隔授業の取組を推進していくことを研究している。生徒のニーズに合わせて、地歴・公民や理科などの授業をオンラインで提供することで開設科目を増やすことを目指している。将来的には対面授業とオンライン授業を組み合わせて、より柔軟な学習環境を実現したいと考えており、中山間地域を抱える島根県の教育の未来を支える重要な施策になると考えている。

また、部活動の指導については、外部指導者を積極的に活用し、教員の負担を軽減しながら生徒が部活動に集中できる環境づくりを進めている。地域のスポーツ指導者や卒業生などの協力を得ながら、地域全体で子どもたちの育成を支援並びに指導者を育成する体制作りを行いたい。

「2」不登校の生徒への対応について

県教育委員会の具体的な取り組みとしては、①相談体制の強化：学校内に、養護教諭・スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)など、複数の相談窓口を設置し、生徒が気軽に相談できる環境を整えている。また、生徒一人ひとりのタブレット端末に相談窓口一覧を設け、相談したいときに相談窓口を見つけれられるように整備している。スクールメールを活用し、保護者にも定期的に相談窓口一覧を配信している。②多様な学習機会の提供：

登校が困難な生徒に対しては、保健室、相談室、図書室や空き教室などを活用し、校内での教室以外の居場所を提供している。また、ICTを活用した課題配布や授業のライブ配信など、多様な学習機会を提供している。③家庭への支援：担任やSSWなどが生徒や保護者への電話やオンラインによる声かけ、訪問を行い、きめ細やかなサポートを行っている。④通信制課程への転学支援：県内の通信制課程がある高校への転学を提案するなど、生徒の状況に合わせた支援を行っている。

一方で、解決すべき課題も数多く存在する。①保護者の不安：保護者の中には、不登校になった子どもとの「ミニニケーション」の取り方などがわからず、どこに相談すれば良いのかわからないケースがある。②生徒の心理的なハードル：悩んでいる子どもが自ら相談窓口へ足を運ぶことは容易ではない。③長期的な影響：不登校は生徒の学力低下や進路選択の制限など、長期的な影響を与える可能性がある。その課題の対応として①保護者への支援、SCとの面談やSSWの活用を提案したり、保護者向けの相談窓口を周知したりして、より気軽に相談できる環境を整える必要がある。②関係機関との連携：学校が組織として取組むだけでなく、家庭・地域・医療・福祉機関などの関係機関と連携し、より包括的な支援体制を構築する必要がある。不登校は個別の状況に応じた支援が必要となるよう取り組むべき課題である。

「3」教職員の働き方改革について

令和五年十二月二十一日に島根県教育委員会と県内十九市町村教委の教育長が教職員の働き方改革実施を宣言し、保護者や地域住民に協力を求める共同メッセージを発表した。

教員の仕事は、授業やその準備だけでなく、生徒指導、部活動指導、保護者対応、地域との連携、事務作業など多岐にわたる。時間外労働も多く、教員志望者の減少、離職率上昇と教員不足が深刻な問題となる一因となっている。

現在、教員の働き方改革を進めており、保護者や地域住民の協力を得ながら、時間外労働時間が平成三十年と比べて約四十%減少した。これは単に教員の負担を減らすだけでなく、より多くの時間子どもたちに向き合うことができるようになり、教育の質向上に繋がると考えている。

しかし、保護者の理解と協力なしで教職員の働き方改革の促進は難しく、保護者の皆さまに理解をいただくとともに、ご協力をお願いしたいと考えている。



意見交換会の様子

島根県高等学校PTA連合会高校生総合保障制度 (こども総合保険)

2025年5月現在の内容です。

大切なお子さまを
1日24時間、補償!

学校でのケガはもちろん、学校が休みの日や部活中・登下校中のケガも補償します。
ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。

選べる4プラン (2025年度版)

※プランによって補償内容が異なります。総合保障制度の詳細につきましては、配付されたパンフレットをご覧ください。取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問合せください。

プラン年間掛金	Xプラン	Gプラン	Bプラン	Cプラン
	18,450円 (1年分の掛金)	13,320円 (1年分の掛金)	8,260円 (1年分の掛金)	6,220円 (1年分の掛金)

高校生の
日常生活を
幅広くサポート

自転車で他人にケガをさせた!



授業中にメガネを壊した!



扶養者が事故に!!



部活でケガをした!



取扱代理店・扱者

有限会社メ イ ジ

出雲市斐川町直江4888-4
TEL.0120-001-230

(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1山陰中央新報駅前ビル6F
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)

TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776



公益財団法人 島根県育英会

大阪学生会館

大阪府吹田市千里丘中58番10号

施設見学
体験入寮
も可能！

令和8年度
第一期

入寮生募集

20名
程度

～ 暮らしの安心が、学びの意欲を支える！ ～

自立が芽吹く
安心という土台の上に、

良さ・安心

9月1日(月) ▶ 10月31日(金)
(第二期募集: 12月1日～)

- ▶ 島根出身の館長夫妻が在寮しており、病気・地震・風水害等の非常時には心強い
- ▶ 相談できる同郷の仲間や先輩がそばにいる
- ▶ 家具などが備え付けで初期費用が押さえられる
- ▶ 近くに病院・コンビニ・スーパー・ホームセンターがある
- ▶ 京都や兵庫の学校も通学可能なところが沢山ある
- ▶ 静かな住宅地に立地



最寄のJR千里丘駅から
大阪梅田まで15分の地で
朝・夕2食付き 月額
5万6千円で生活できる

月 額
寮 費

朝・夕2食付き 56,000円

物価高騰が進む中、低寮費で生活と学びを応援します

入 寮 費

12万円または15万円(最短修業年限による)

応 募
資 格

島根県で生活経験があり、関西の大学・短大・大学院・高専(4年生以上)、専修学校(専門課程)に在学中か令和8年度進学希望者(進学先未決定でも申込可)

願 書
提出先

在学する高校又は出身高校。大学等の在学者は島根県育英会。

【お問合わせ先】



公益財団法人 島根県育英会 TEL 0852-28-1981

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター3階 募集案内



入寮生の
通学実績が
ある学校



～ 交 通 機 関 ～

JR千里丘駅 15分 → JR大阪駅
JR千里丘駅 25分 → JR京都駅
JR千里丘駅 50分 → JR神戸駅
JR千里丘駅下車徒歩15分
阪急摂津駅下車徒歩20分



事務局だより

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合大会島根大会の開催が近づいてまいりました。これまで令和五年八月に準備委員会を設立以来、総会、評議員会、実行委員会を開催し、準備を重ねてきました。これまでの会員の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、本大会では、川本町出身、江津工業高校をご卒業され、現在は浜田市にお住まいで、数々のアニメ作品を手がけられた日本屈指のメカニックデザイナー、山根公利氏に、「Tから生まれる人の幸せとは何か?」という、誠に時代に合致した興味深いテーマで講演いただきます。また、研究協議では、隠岐高校PTAによる「人情の島が創る隠岐高校」地域が育む高校魅力化」という、時宜を得たテーマで活発な議論が交わされることと存じます。さらに、県内高校生による国歌独唱、アトラクションや物産販売も企画しております。

県外からお越しの会員の皆様に、島根大会が思い出深い大会となりますよう、最後の準備に尽力しますので、皆様のご協力、最後までよろしくお願ひ申し上げます。

